



こんなに「涙」が あたたかいなんて



カロリース・リンク監督作品

ビヨンド サイレンス

JENSEITS DER STILLE

97年ドイツ・アカデミー賞(ドイツ連邦映画賞)最優秀長編作品賞・最優秀主演女優賞・最優秀音楽賞受賞
第10回('97)東京国際映画祭グランプリ・最優秀脚本賞受賞



音楽への情熱と、両親への愛に揺れながら 少女は輝く明日への扉を開いた

静寂の世界に生きる父と母をもつ、音楽の才能あふれる少女の数奇な運命…
全ヨーロッパ700万人を感動の涙で包み込んだ、愛と希望のドラマ——



シルビー・テステュー/タティアーナ・トゥーヴ/ハウイー・シーゴ
エマニエル・ラボリ/シビラ・キャノニカ/マティアス・ハービッツ/ハンサ・ツィビヨンカ
© CLausen+Wobke and Roxy Film/Luggi Waldleitner

後援：ドイツ連邦共和国大使館・東京ドイツ文化センター・ドイツ観光局
文部省選定/優秀映画鑑賞会推薦/財団法人全日本ろうあ連盟推薦
全日本難聴者中途失聴者団体連合会推薦/(社)全日本吹奏楽連盟推薦
96年製作/ドイツ映画/113分/日本語字幕：松岡葉子/宣伝制作協力：プランニングOM
単行本「ビヨンド・サイレンス」発行：集英社刊/サンラOD：東芝EMI/配給：パンドラ

あふれる希望、胸の奥から沸き起こる感動！ いま〈涙〉の渦は、ヨーロッパから全世界に――

全ヨーロッパを希望と感動の涙で包み込んだこの作品は、上映各国で絶賛の拍手をもって迎えられた。ことに、ドイツ国内では300万人を動員する'97年最大のヒットを記録し、現在もおロングラン上映中である。そして、ドイツ・アカデミー賞にあたるドイツ連邦映画賞の主要3部門を獲得する快挙を達成。さらに、サントラCDや単行本も、爆発的な売り上げを更新中である。また日本でも'97年11月に開催された第10回東京国際映画祭に出品されるや、大絶賛を浴び、グランプリと脚本賞のダブル受賞に輝いたことは記憶に新しい。

愛と希望の間で向かい合う娘と父…

天才子役タティアーナ・トゥーリーブの名演技！

両親の深い愛に包まれて、幸せに暮らす少女ララ。幼いときから手話を覚え、ろうの両親の通訳を務めていた彼女が初めて夢中になったものはクラリネット。やがて、彼女は音楽家への道を目指す、父は猛反対し、ふたりの間に深い亀裂を生むことになってしまう…。実話にヒントを得て女性の自立と家族の問題を鮮やかに描いたこの作品で、観るものの心をとらえてしまうのが、少女時代のララを演じるタティアーナ・トゥーリーブ。映画初出演で、大人顔負けの知性と聡明さあふれる名演技を披露。早くも天才子役出現と評判を呼んでいる。



リアルな感動を盛り上げる、ろうの俳優たちの熱演！

この作品でララの両親を演じるのは、実際にろうの俳優として有名な2人の実力派スターたち。母役エマニュエル・ラボリは、その自伝「かもめの叫び」もベストセラーとなった、フランスで最高の人気を誇る舞台女優。父を演じるハウイー・シーゴは、アメリカで活躍中の演技派俳優。このふたりの素晴らしいコンビネーションが、映画の感動をよりリアルに盛り上げる。

世界の映画賞を独占/ 新鋭カロリーヌ・リンク監督

長編デビュー作に当たる本作で、早くも映画賞を総なめにし、才能を証明したリンク。彼女は2年の準備期間を経て資金集めを開始、遂に映画化を実現した。東京国際映画祭に來日し、晴れのグランプリと脚本賞を受賞。「魂の底から湧いてくるような物語を作りたい」というこの若い女性監督に、ヨーロッパ映画のホープとしての期待が集まっている。

ビヨンド サイレンス JENSEITS DER STILLE



- ◆'97年ドイツ・アカデミー賞(ドイツ連邦映画賞)
最優秀作品賞・最優秀主演女優賞・最優秀音楽賞 受賞
- ◆第10回('97年)東京国際映画祭
グランプリ・最優秀脚本賞 W受賞

ドイツ映画はコメディだけではないことを、この素晴らしい映画が教えてくれた。

(ハリウッド・リポーター誌)

詩的な中にも抑制のきいた演出で描かれる、若い女性の自立の物語。力強い手話のシーンから、監督の強い思いが感じられる。

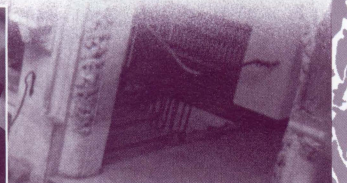
(ブリック・パノクト・フィルム誌)

知的で繊細、人の心を動かす俳優たちの名演技が、物語の説得力を高めた。

(南ドイツ新聞)

ミュンヘン映画祭で最も印象深い作品！素晴らしい構成の映像と、優れた俳優たち。まれに見る質の高さで、情感に語りかけてくる映画だ。

(エブド・フィルム誌)



製作総指揮：ヤーコプ・クラウゼン/トーマス・ベッケル/ルキ・ヴァルトライトナー 監督：カロリーヌ・リンク 脚本：カロリーヌ・リンク/ベス・セルリン 撮影：ギャレット・トル 音楽：エキライザー 美術：スーザン・ビーリンク
1996年製作/カラー/ドイツ映画/113分 日本版字幕/松岡葉子 宣伝制作協力/プランニングOM サントラCD/東芝EMI 単行本「ビヨンド・サイレンス」発行/集英社
後援/ドイツ連邦共和国大使館/東京ドイツ文化センター/ドイツ観光局 文部省選定/優秀映画鑑賞会推薦/財団法人全日本ろうあ連盟推薦/全日本聴覚者中途失聴者団体連合会推薦/全日本吹奏楽連盟

配給：バンドラ
TEL 03-3555-3987
FAX 03-3555-8709

熱い要望に応え **7月11日(土)～24日(金)アンコール上映決定!**
本年度最高の感動作を、この機会に是非ご覧ください。

◆料金(当日のみ)一般:¥1800/大高生:¥1500/中学・小人・シニア・身障者割引(手帳をご提示でお連れ様まで):¥1000

◆ビヨンド・サイレンス に関するお問合せはファクシミリでも承ります。FAX 06-359-1081(テアトル梅田)

6月26日リニューアルOPEN

梅田ロフトB1 06(359)1080

テアトル梅田

11:40 2:00 4:20 6:40

http://www.theatres.co.jp/cinemabox/